（様式⑦　小学校・中学校）

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ　学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立浜寺南中学校
校長　中逵　和枝

中学校区におけるめざす子ども像
①学びの基礎をつくり，自分らしい学びを深めるこども　②他者と協力し，自他の違いを認め，多様性を尊重するこども　③運動する習慣・意欲・能力を高め，心身ともに健康に生活するこども

令和7年度　重点目標
◎「生徒の実態，保護者・地域の願い」を理解しながら，「自主」「協同」「敬愛」の精神を柱として，誰一人取り残すことのないよう学力（基礎・発展）の向上を図り，基本的な生活習慣の確立と自主性を生かした取り組みによる「笑顔 輝く 学校づくり」をめざす。
■「総合的な学力の育成をめざして教科指導の充実」 ■「生徒指導の充実」 ■「人権教育の推進」 ■「防災教育の充実」 ■「特別支援教育の充実」の5つを今年度の教育重点目標の柱と位置づけて取り組む。

確かな学びの現状…〈R6年度大阪府チャレンジテストの結果より〉
【知識，技能】では3年生で理科以外の4教科で府の平均を上回っている。【思考力，判断力，表現力等】では，3年生で理科以外の4教科で府平均正答率を上回っている。知識，技能を基盤にしてそれらを使って自分で考え，判断し，他者に伝える力が身についてきている。【学びに向かう力・人間性等】では「文章や資料などを読むときに、どこが大事なところかを考えながら読んでいる。」等で府平均を上回りっており，「授業中、PC・タブレットを使って、学級の友だちと意見を交換する場面はどれくらいありますか。」でも週3回以上の肯定的な回答が府の平均を25ポイント上回っていた。このことから自分の考えを整理したり友だちと意見を交換する場面においても大事なポイントをまとめることができるような授業が設定され，考え表現する習慣がついてきたと思われる。ただし，「授業中、思考ツールを使うなどして、自分の考えを整理したりまとめたりする場面がある。」や「普段、1日平均どれくらいの時間、本を読みますか。」についての肯定的な回答は府の平均を下回っており，図書館や思考ツールを使用しながらより学びを深めていける知識や能力を身につけるような授業を展開するよう工夫が必要である。

豊かな心・健やかな体の現状
学校における教育活動全体を通じて人権教育を推進していくことが重要であり，生徒個人の感覚として身につくような指導を心がけながら自他の尊重と自尊感情を一層高める必要がある。そのためには，教育活動全般にわたり，意図的・計画的な人権教育への取組が必要であると考える。また，特別な教科「道徳」の指導方法の工夫改善を推進していく。なお，重点目標の一つでもある「生徒指導の充実」について，教職員全員で情報の共有を図りながら，生徒一人ひとりに丁寧な指導を心がけていきたい。特に「いじめ」問題については，「学校いじめ防止基本方針」に基づき，学校全体で課題解決に取り組む姿勢を確立することが重要である。部活動については，運動部，文化部問わず，スポーツ庁および文化庁のガイドラインを遵守し，ノークラブデーを確実に実施していく。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 （●重点とする取組　★中学校区での取組）	判断基準 （評価のものさし）	評価方法	評価時期	進捗確認		達成状況(年度末) 自己評価		学校関係者評価
確かな学び	教科指導	自分らしい深い学びを支援する	わかりやすく楽しい授業を行う。	◆学校教育アンケート ◆CBT調査（教育委員会作成）等 上記のアンケート結果の肯定的回答の割合が 70%以上→A評価 30%～70%→B評価 30%未満→C評価	◆学校教育アンケート ◆CBT調査（教育委員会作成）等	学期末 年度末	A	生徒一人ひとりに応じた学びの支援については工夫しながら指導を実践している。ICTを効果的に活用することや探究的な深い学びについてはさらなる工夫が必要である。	A	71%　（生徒82%　保護者60%）	A
			★ICTを効果的に活用し，工夫した授業を行う。				B		B	64%　（生徒56%　保護者72%）	B
			●これまでの学びを生かした探究的な深い学びを進める。				B		B	68%　（生徒78%　保護者59%）	B
	キャリア教育	自己の希望に応じた進路選択を支援する	将来の進路や生き方について，考える機会をつくる。				B	各学年の発達段階に応じた進路学習についてさらに実施していく必要がある。	B	63%　（生徒77%　保護者48%）	B
			進路学習に関する情報をこまめに知らせる。				A		A	80%　（生徒89%　保護者71%）	A
豊かな心・健やかな体	人権教育	多様性・国際性を尊重する生徒の育成	●生き方や豊かな心について考え，他者の考え方を尊重する。				A	今年度も各学級において，いじめ防止対策基本方針について学習等行っており，いじめのない明るい学校づくりを行い，学校全体で生徒や保護者が相談しやすい雰囲気づくりを進めている。	A	72%　（生徒81%　保護者64%）	A
			一人ひとりが集団の中でかけがえのない存在であることを学ぶ。				A		A	80%　（生徒86%　保護者75%）	A
			●いじめのない明るい学校づくりを行う。				A		A	70%　（生徒73%　保護者67%）	A
	健やか体	心身の健康の保持増進を支援する	運動の知識や技能を高め，生涯にわたって運動を豊かに実践することができるようにする。				A	体育行事やあいさつ運動，教育相談等を通して心身の健康の保持増進を支援する行事や取り組みを行っている。	A	71%　（生徒81%　保護者62%）	A
			明るく豊かな生活を営む態度を養う。				A		A	72%　（生徒88%　保護者55%）	A
連携	小中協働	地域	他者と協力する生徒の育成	●地域合同の防災教育を行い、浜南レスキュー隊としての意識を高める。			A	地区合同の防災訓練を行った。	A	85%　（生徒93%　保護者78%）	A
学校生活	自主性	生徒会活動等を通じ自主性の向上を育成	学校や学級は楽しく満足しているか。				A	各生徒会活動を積極的に行っている。	A	83%　（生徒89%　保護者77%）	A
			生徒会活動に積極的に参加しているか。				A		A	72%　（生徒85%　保護者59%）	A

校長より(年度末)　本年度は，いじめ防止対策基本方針に基づく学習や，海外の生徒との交流授業を実施し，学校全体で人権意識の向上に努めました。また，重点取組である「これまでの学びを生かした探究的な深い学び」について生徒アンケートでは高い評価が得られた一方，保護者アンケートでは肯定的な意見と同程度に「わからない・判断できない」という回答が多く見られました。ICTの活用については、教科や学年によって差が見られ、課題が残っています。今後は、どの教科においても効果的にICTを活用し、探究的な深い学びの実践状況を保護者へ積極的に発信することを課題として取り組みたいと思います。さらに多様な進路や生き方を踏まえ、3年生以外の学年にも進路に関する学習機会をさらに充実させるよう取り組んでまいります。

学校関係者評価者から(年度末)
情報機器を使う場面も増え、学習への取り組み方が大きく変わり、先生方がいろいろと工夫をしながら対応してくださっていると思います。探究的な学びは、これからの子どもたちにとって大切な取り組みなので，これからも少しずつ深まっていくことを期待しています。また、進路に関する情報はどうしても3年生に集中しがちなので、早くから知っておいた方がいい事等については、どの学年にも分かりやすく伝えていただきたいと思います。